農学部　農業生産科学科　応用植物科学コース

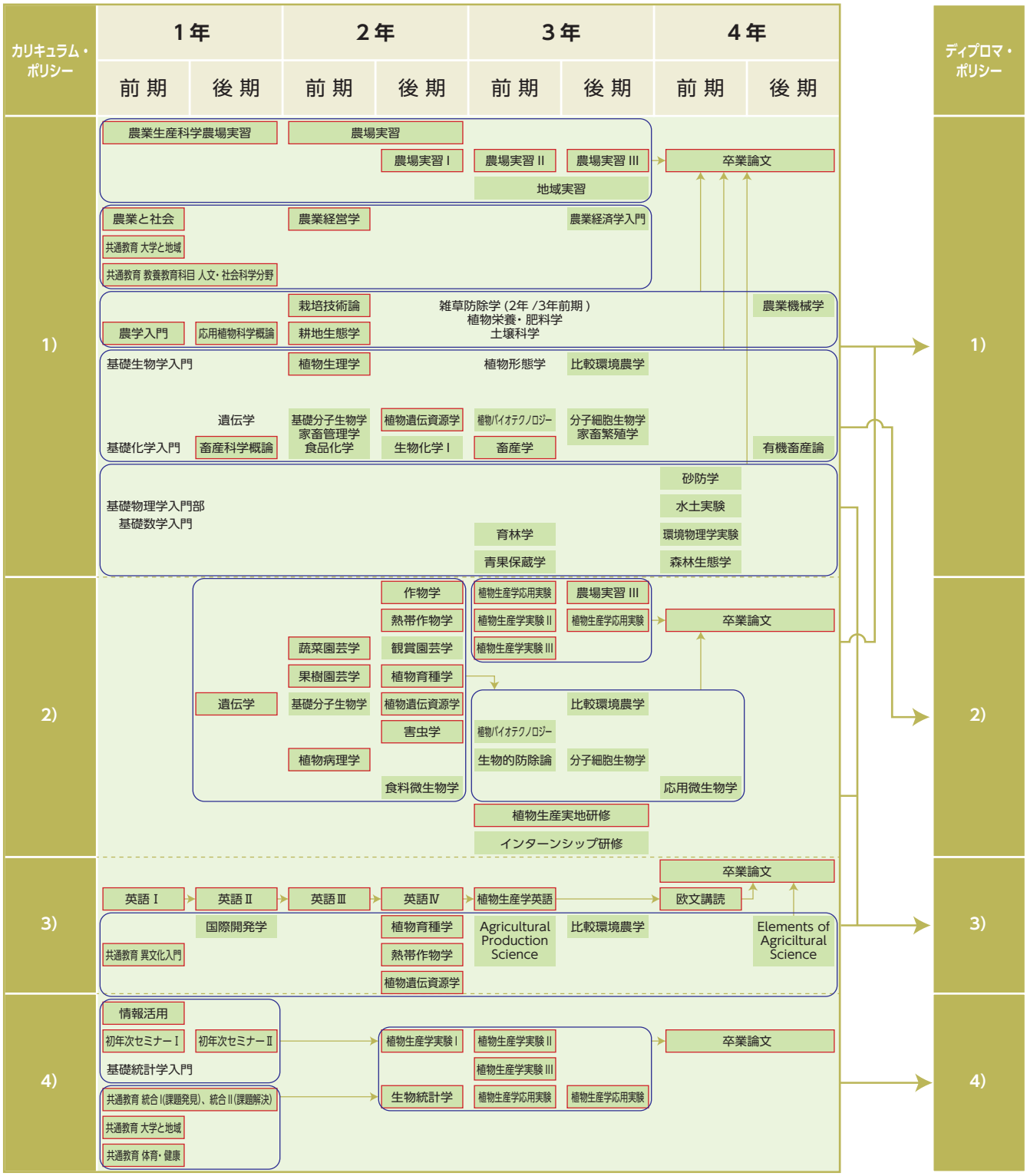
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）農業生産と自然環境の関係、多様な遺伝資源および農業生産技術について学ぶ科目を配置します。	①
2）農・園芸作物生産の諸問題に対処できる能力を涵養する科目を配置します。	①②
3）国際的な視点から農業生産を理解できる能力を養うことのできる科目を配置します。	①②
4）研究の実施、データ収集・解析およびその発表能力を要請する科目を配置します。	②③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）農・園芸作物の栽培や利用に関する専門知識と技術を習得し利用する能力	①
2）農・園芸作物生産に関する生命現象についての専門知識と実験技術を習得し利用する能力	①②
3）地域規模で発生する農業の諸問題について理解するとともにそれらの課題に適切に対処できる能力	③
4）研究・調査などの企画・立案・実践、データの解釈・取りまとめが適切に行え、それらを的確に発表する能力	②③

カリキュラム・マップ



農学部　農業生産科学科　畜産科学コース

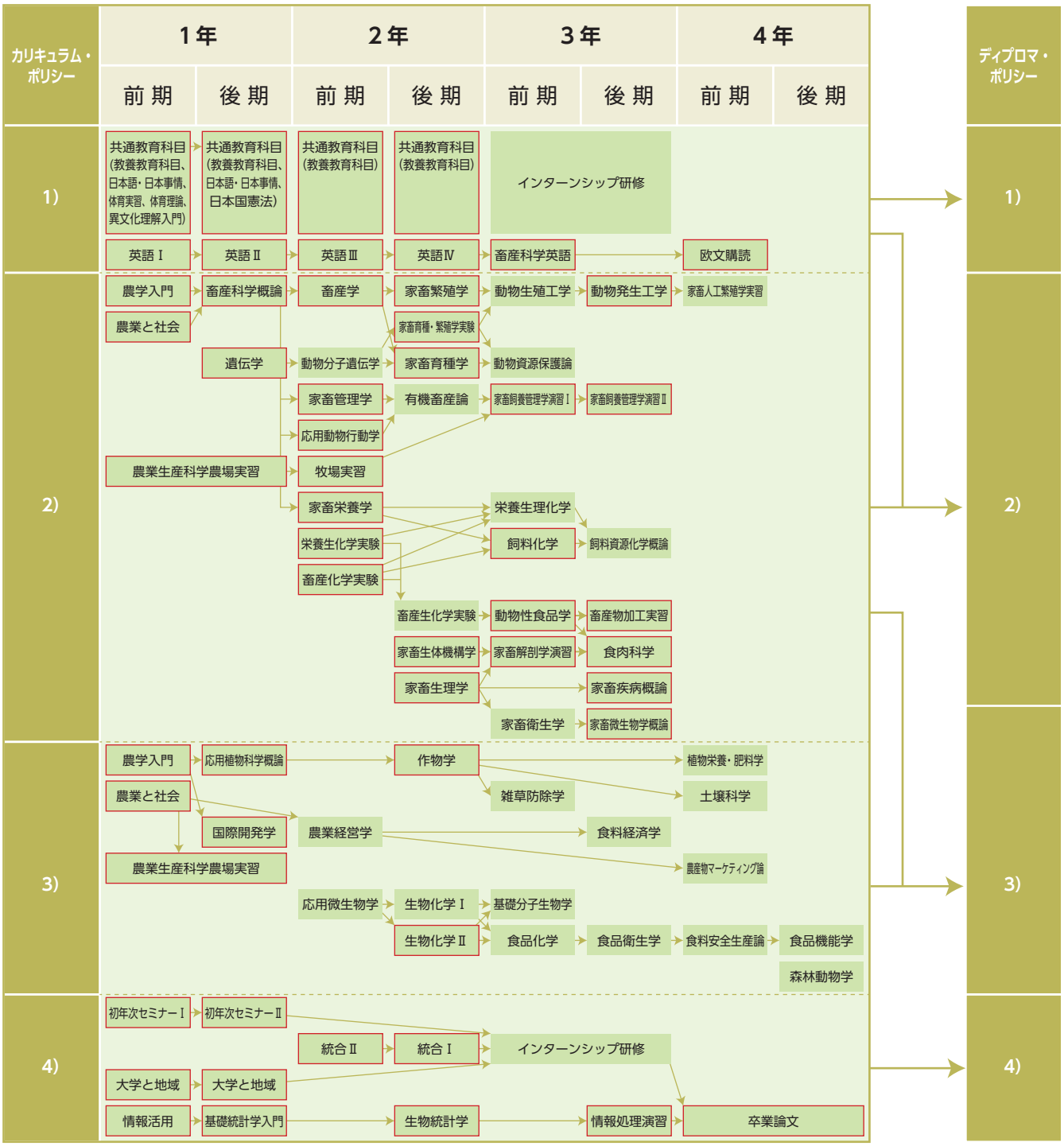
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）幅広い教養と正しい倫理観を養うとともにコミュニケーション能力向上に資する科目を配置します。	②
2）畜産学に関する知識や技術を修得させる科目を配置します。	①②
3）畜産学の基礎や発展に寄与する農学の知識や技術を修得させる科目を配置します。	①②
4）様々な課題を論文やレポート等にまとめるために必要な主体性や問題解決能力を養成する科目を配置します。	③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）幅広い教養と正しい倫理観を身につけ、主体的にあるいは協調して行動できる能力	①②
2）畜産学に関する専門的な知識や技術を有し、コミュニケーションができる能力	①②
3）畜産に関する諸課題に対して、専門的な知識・技術に基づいた論理的な思考と判断ができる能力	①②
4）畜産学に関する研究課題を遂行し、成果をまとめたり、説明できる能力	①②③

カリキュラム・マップ



農学部　農業生産科学科　食料農業経済学コース

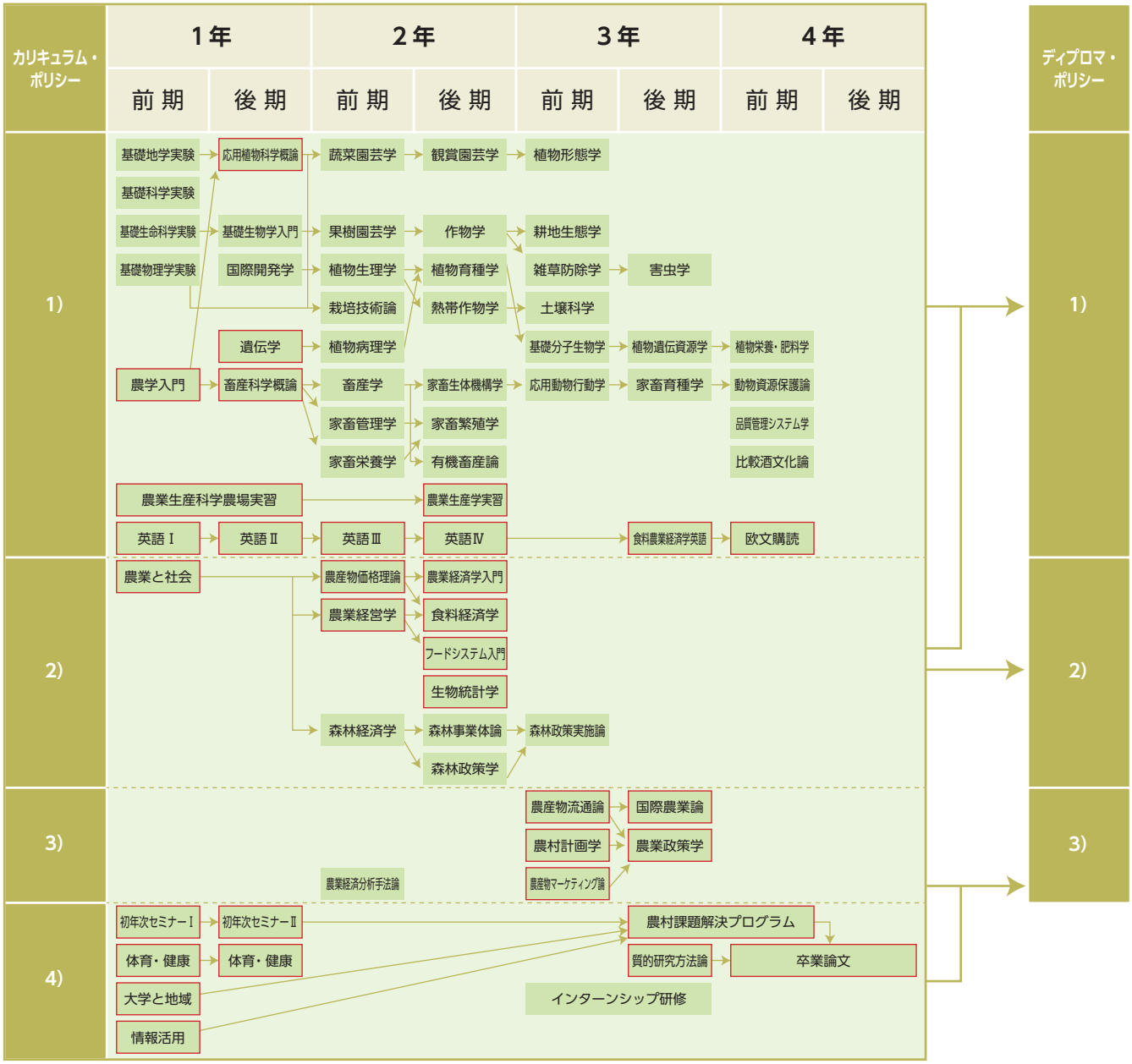
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）農業生産および農業技術を理解するための基礎的な科目を配置します。	①②
2）食料農業経済学の理論体系を理解するための入門的な科目を配置します。	①
3）食料農業経済学の専門領域別により高度な専門的な知識・分析手法を習得する科目を配置します。	②③
4）これまで習得した知識や分析手法を活用し、具体的な調査研究に取り組むほか、その成果の取りまとめおよび報告を実践するための科目を配置します。	③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）国内外の農畜産物の生産・流通・消費の実態、食料・農業・農村の諸問題および社会科学の基礎理論を理解し、問題提起ができる能力	①②
2）食料農業経済学の専門的知識に基づき、農業・農村およびアグリビジネスの実態および課題にアプローチできる能力	①③
3）自ら研究課題を見つけ、専門的分析手法を用いた調査研究により、研究成果を取りまとめ・報告できる能力	①③

カリキュラム・マップ



農学部　食料生命科学科　食品機能科学コース

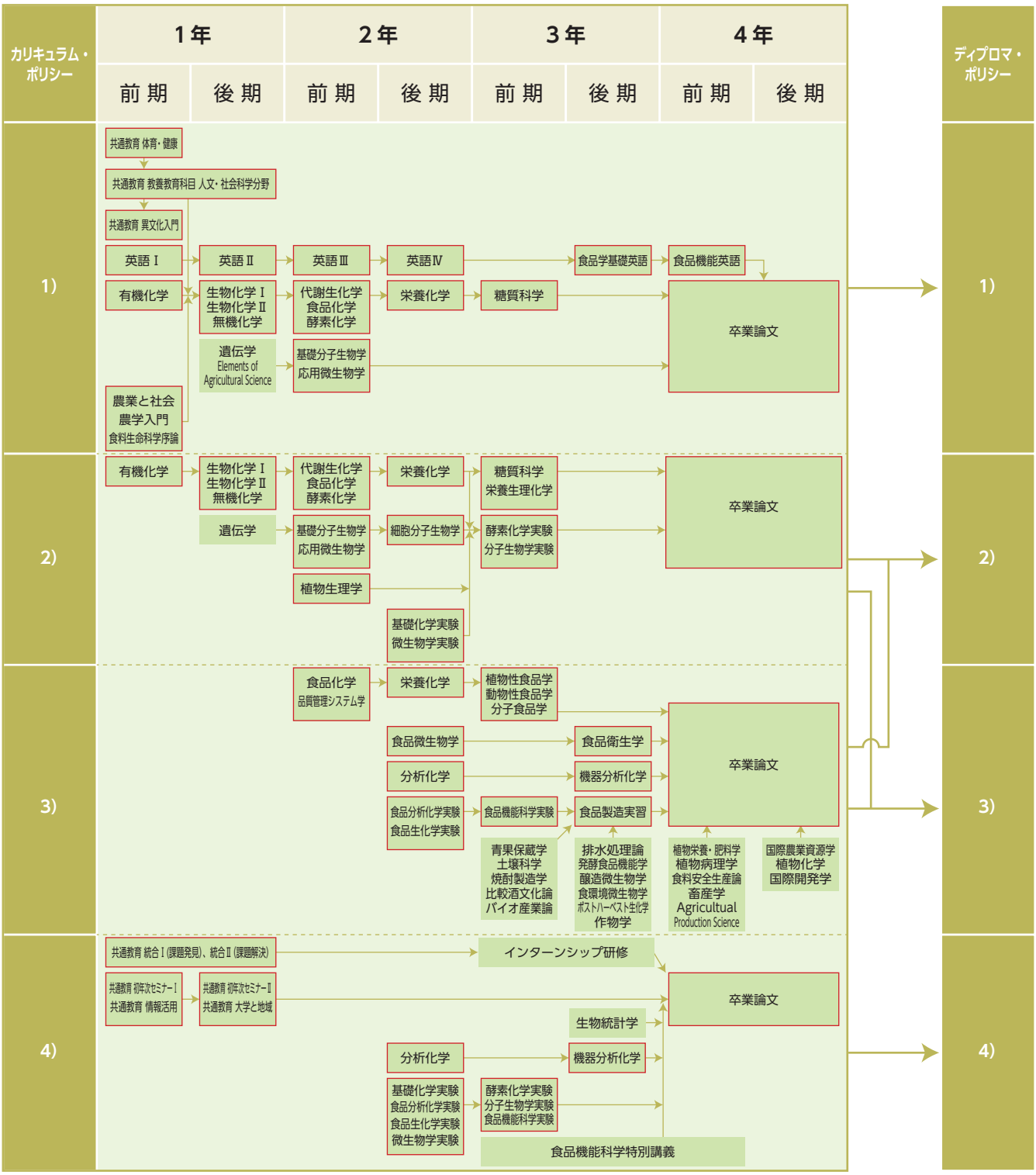
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）農学における幅広い知識と、食料生命科学を学ぶための基礎的知識と技術を習得するために、農学、化学、生物学に関する基礎的科目を配置します。	①
2）生命現象や生体成分に関する基礎専門知識と技術を修得するための科目を配置します。	①②
3）食品や食品成分の栄養、消化吸収、機能性、利用法、加工法に関する専門的知識と技術を習得するための科目を配置します。	②③
4）食品機能科学に関する研究方法の習得や実社会で役立つ問題解決能力および国際的視野を養う科目を配置します。	③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）幅広い農学の知識と生命現象や生体成分に関する基礎的な知識を身につけ、生物資源を活用して人類の生活を豊かにできる能力	①③
2）食品や食品成分の栄養、消化吸収、機能性、利用法、加工法に関する知識を身につけ、生物資源から新素材や機能性食品を開発する能力	②③
3）生体成分や食品成分の単離・分析および食品機能の評価に関する能力	①②
4）食品機能科学に関する研究方法を習得し、データの整理と結果の考察を適切に行い、それらを他人に説明できる能力	②③

カリキュラム・マップ



農学部　食料生命科学科　食環境制御科学コース

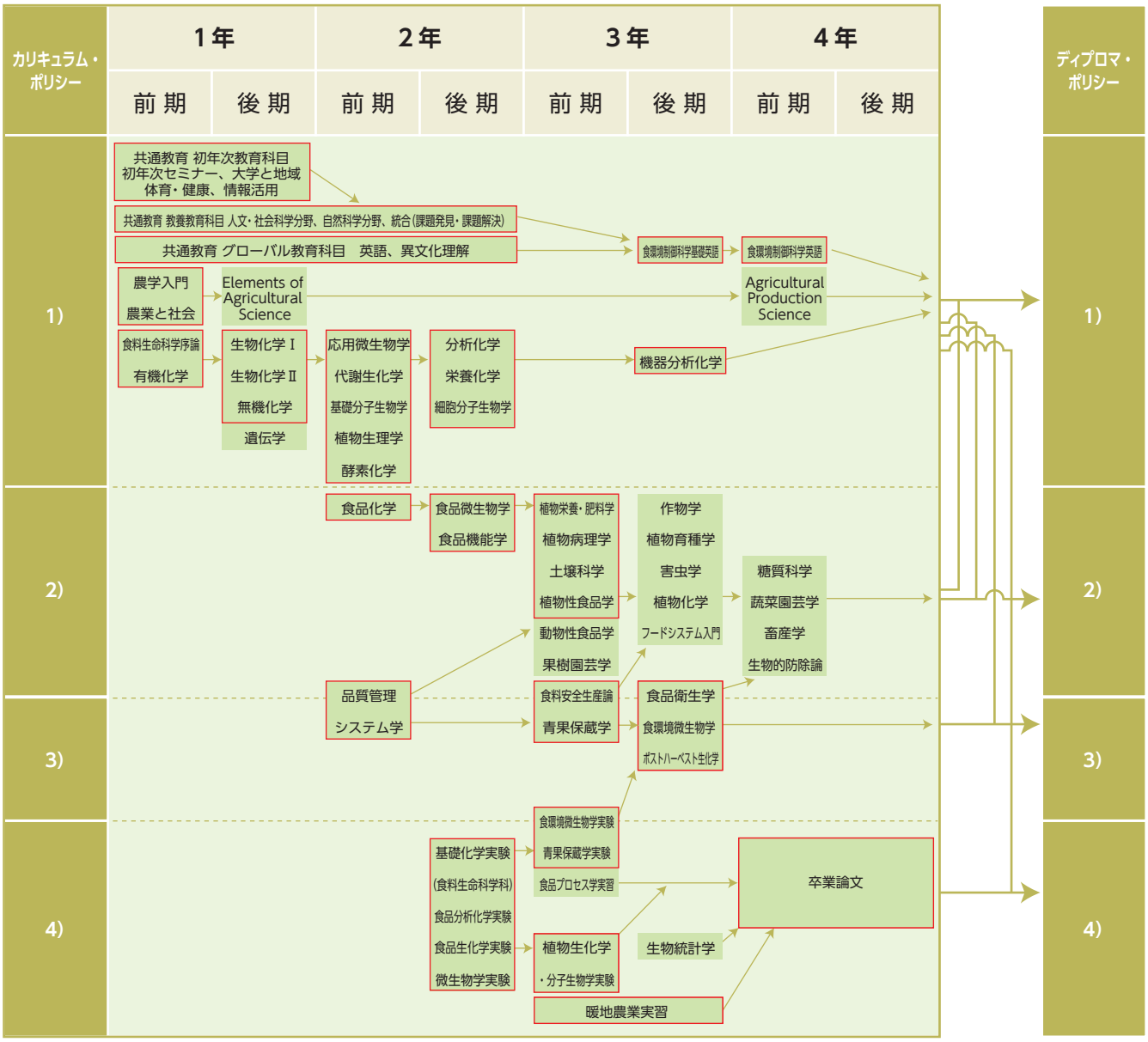
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）農学における幅広い知識と、食料生命科学を学ぶための基礎的知識と技術を習得するために、農学、化学、生物学に開する基礎的科目を配置します。	①②
2）安全な食品の供給に関わる知識と技術を身につけるために、農産物の生産・保蔵・加工・流通に関する専門的知識を修得する科目を配置します。	①②
3）農産物や食品の品質および安全性の評価と基準値に関する知識と技術を修得する実践的科目を配置します。	①②
4）食環境制御科学に関する研究方法を習得し、実社会で役立つ問題解決能力を養う科目を配置します。	①②③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）農業生産環境・生産工程・生産資材に関する基礎的な知識と技術を身につけており、安全な農産物を生産するための取り組みに対応できる能力	①②③
2）農産物の保蔵・加工・流通に関する基礎的な知識と技術を身につけており、消費者へ安全な食品を供給するための取り組みに対応できる能力	①②③
3）農産物や食品の品質および安全性の評価と基準値に関する知識を身につけており，農産物や食品の品質および安全性に関わる実践的な取り組みに対応できる能力	①②③
4）食環境制御科学に関する基礎的な研究手法を身につけており、食の安全に関わる問題解決に向けた取り組みに対応することができる能力	①②③

カリキュラム・マップ



農学部　食料生命科学科　焼酎発酵・微生物科学コース

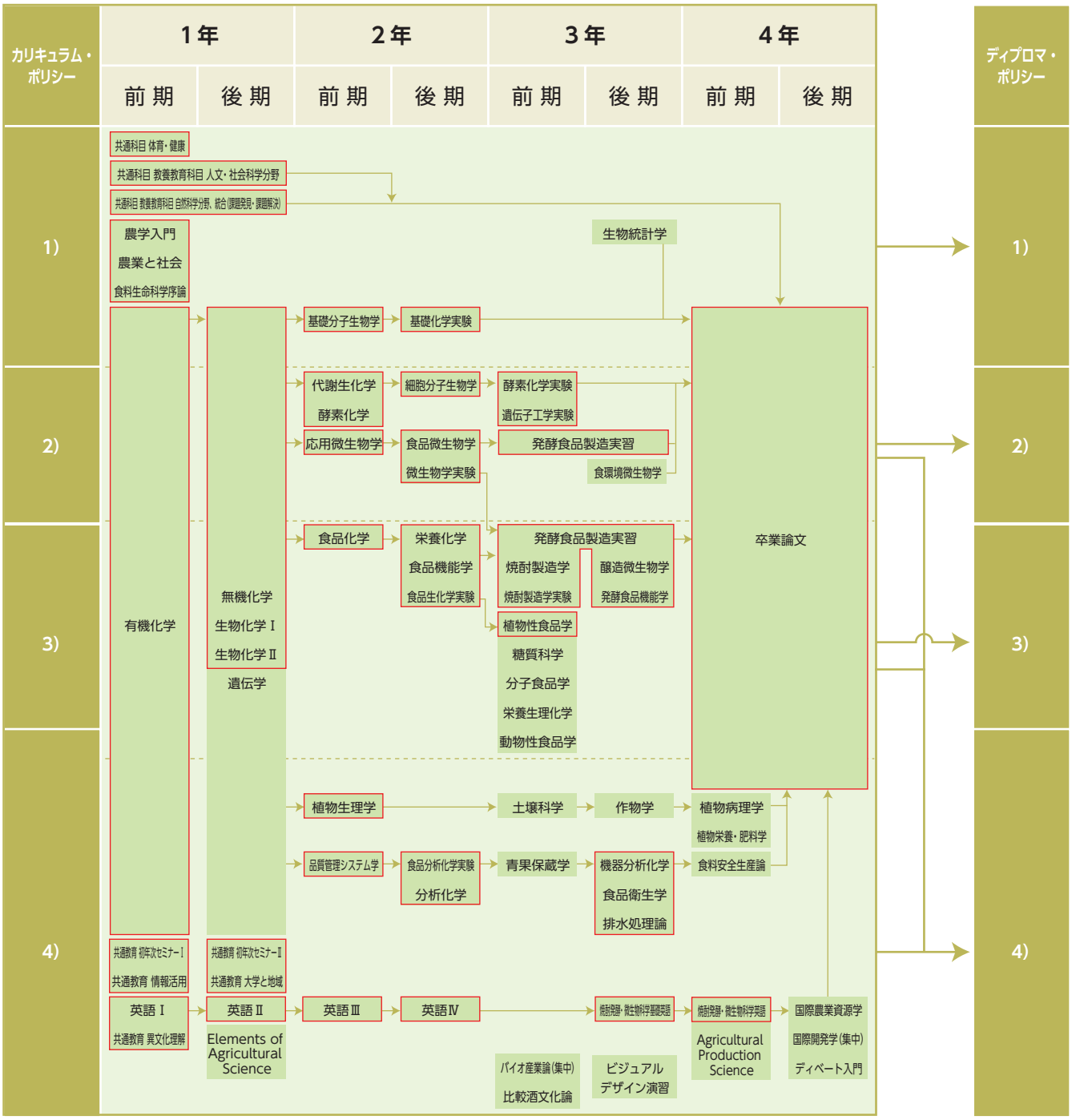
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）農学における幅広い知識と食料生命科学を学ぶための基礎的知識と技術を習得するために農学、化学、生物学に関す基礎的科目と実験を配置します。	①
2）微生物の取り扱いからその機能並びに利活用に関する専門的な知識と技術を身につけるための科目と実験を配置します。	②③
3）焼酎をはじめとする発酵食品に関する専門的な知識と技術を身につけるための科目と実験、実習を配置します。	②③
4）焼酎発酵・微生物科学に関する研究方法の修得や実社会で役立つ問題解決能力および国際的視野を養う科目を配置します。	②③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）幅広い農学の知識と生命現象や生体成分に関する基礎的な知識を身につけており、生物資源を活用して人類の生活を豊かにするための取り組みに対応できる能力	①
2）微生物の取り扱いからその機能並びに利活用に関する専門的な知識と技術を身につけ利用する能力	②
3）焼酎をはじめとする発酵食品に関する専門的な知識を身につけており、これらの課題に取り組むことができる能力	③
4）焼酎発酵・微生物科学に関する研究方法を習得し、データの整理と結果の考察を適切に行い、それらを他人に説明できる能力	③

カリキュラム・マップ



農学部　農林環境科学科　森林科学コース

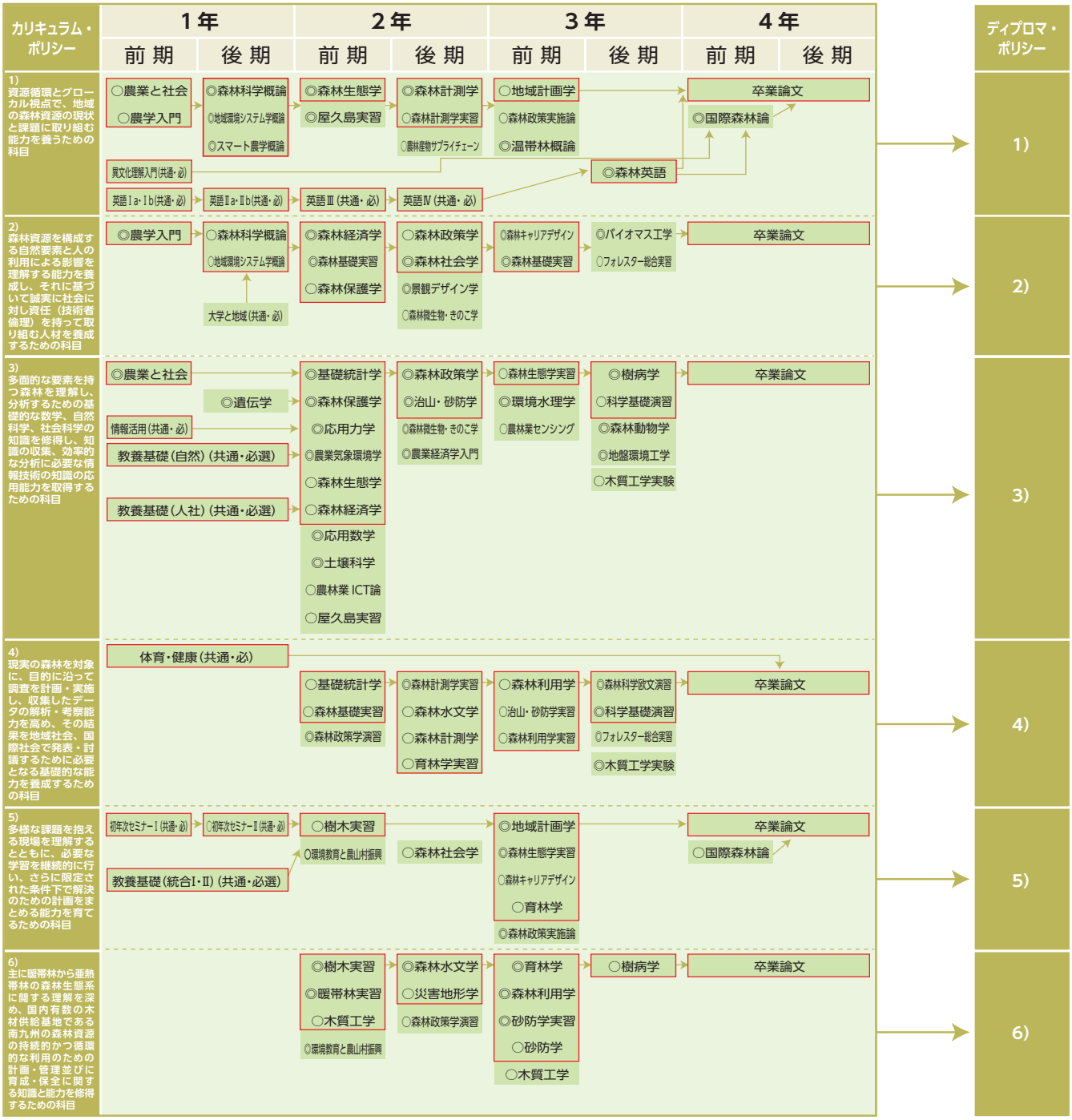
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）資源循環とグローカル視点で、地域の森林資源の現状と課題に取り組む能力を養うための科目を配置します。	①②③
2）森林資源を構成する自然要素と人の利用による影響を理解する能力を養成し、それに基づいて誠実に社会に対し資任（技術者倫理）を持って取り組む入材を養成するための科目を配置します。	①②③
3）多面的な要素を持つ森林を理解し、分析するための基礎的な数学、自然科学、社会科学の知識を修得し、知識の収集、効率的な分析に必要な情報技術の知識の応用能力を取得するための科目を配置します。	①②③
4）現実の森林を対象に、目的に沿って調査を計画・実施し、収集したデータの解析・考察能力を高め、その結果を地域社会、国際社会で発表・討議するために必要となる基礎的な能力を養成するための科目を配置します。	②③
5）多様な課題を抱える現場を理解するとともに、必要な学習を継続的に行い、さらに限定された条件下で解決のための計画をまとめる能力を育てるための科目を配置します。	②③
6）主に暖帯林から亜熱帯林の森林生態系に関する理解を深め、国内有数の木材供給基地である南九州の森林資源の持続的かつ循環的な利用のための計画・管理並びに育成・保全に関する知識と能力を修得するための科目を配置します。	②③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）資源循環とグローカル視点で、地域の森林資源の現状と課題に取り組むことができる能力	①②③
2）森林資源を構成する自然要素と人の利用による影響を理解し、それに基づいて誠実に社会に対し責任（技術者倫理）を持って取り組むことができる能力	②③
3）多面的な要素を持つ森林を理解し、分析するための基礎的な数学、自然科学、社会科学の知識を有し、知識の収集、効率的な分析に必要な情報技術の知識を応用することができる能力	①③
4）現実の森林を対象に、目的に沿って調査を計画・実施し、収集したデータの解析・考察を行い、その結果を地域社会、国際社会で発表・討議するために必要となる基礎的な能力	①③
5）多様な課題を抱える現場を理解しており、必要な学習を継続的に行なうことができ、さらに限定された条件下で解決のための計画をまとめることができる能力	②③
6）主に暖帯林から亜熱帯林の森林生態系に関する深い理解、国内有数の木材供給基地である南九州の森林資源の持続的かつ循環的な利用のための計画・管理並びに育成・保全することができる能力	①②③

カリキュラム・マップ



◎当該科目の主要な目標　○当該科目の副次的な目標　ただし、卒業論文は包括的なプログラムであるため、主要、副次的の区別をしていない。

農学部　農林環境科学科　地域環境システム学コース

コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）地域環境システム学全般に係る基礎的な知識と論理を身につけるための科目を配置します。	①②
2）地域資源の活用や管理に関する知識と技術を身につけるための科目を配置します。	①②
3）地域環境の整備や修復に関する知識を身につけるための科目を配置します。	①②
4）自然災害の評価や情報発信に関わる知識と技術を身につけるための科目を配置します。	②
5）農業生産や豊かな地域環境と持続可能な農山村社会の創出に関する技術や方法論を身につけるための科目を配置します。	①②
6）実践的な能力を養うために、データの収集と解析、さらにはレポートにまとめてプレゼンテーションを行う科目を配置します。	②
7）地域環境システム学に関わる研究方法を習得し・実社会で役立つ問題解決能力を養うために卒業論文を配置します。	③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）地域資源に関する知識と技術を習得し、地域資源の活用や管理ができる能力	①②③
2）地域環境に関する知識を習得し、地域環境の整備や修復ができる能力	①②③
3）自然災害に関する知識と技術を習得し、評価や情報発信ができる能力	①②③
4）農業生産や地域環境創出に関する技術や方法論を習得し、豊かな地域環境を創出できる能力	①②③
5）地域環境システム学分野における研究課題を行い、成果を卒業論文としてまとめることができる能力	④

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシー	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期	ディプロマ・ポリシー
1)	農学入門 農業と社会 教養基礎(共通・必選) 体育・健康(共通・必) 初年次セミナーⅠ(共通・必) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選) 異文化理解入門(共通・必) 英語Ⅰ	森林科学概論 地域環境システム学概論 スマート農学概論 教養基礎(共通・必選) 体育・健康(共通・必) 初年次セミナーⅡ(共通・必) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選) 大学と地域(共通・必) 英語Ⅱ	農業気象環境学 応用数学 応用力学 畜産学 農業経営学 英語Ⅲ	作物学 害虫学 農業経済学入門 農林産物サプライチェーン 英語Ⅳ	土壌科学	熱帯作物学 生物統計学 国際農業資源学 専門英語	植物栄養・肥料学	卒業論文	1)
2)	教養基礎(共通・必選) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選)	教養基礎(共通・必選) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選) 大学と地域(共通・必)	環境水理学 森林生態学	農業生産学実習 景観デザイン学 森林水文学 エネルギー利用工学	農地保全学 環境計測学 水土実験 環境物理学実験	農業機械学 地域環境情報解析学 バイオマス工学	卒業論文		2)
3)	教養基礎(共通・必選) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選)	教養基礎(共通・必選) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選) 大学と地域(共通・必)	環境水理学 農林業 ICT論 構造力学	地盤環境工学 治山・砂防学	農地保全学 水土実験 環境物理学実験 森林保護学 農林業センシング	森林動物学 森林微生物・きのこ学	卒業論文		3)
4)	教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選) 情報活用(共通・必)	教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選)	環境水理学	治山・砂防学 地盤環境工学 森林水文学	農地保全学		卒業論文		4)
5)	教養基礎(共通・必選) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選)	教養基礎(共通・必選) 教養基礎(総合Ⅰ・Ⅱ)(共通・必選)	環境教育と農村振興	農山村フィールドワークⅠ 景観デザイン学	農地保全学 地域計画学	農山村フィールドワークⅡ	卒業論文 農村計画学		5)
6)	情報活用(共通・必)		応用数学	農山村フィールドワークⅠ	水土実験 環境物理学実験 学外研修	地域環境システム学演習 農山村フィールドワークⅡ 学外研修	卒業論文		
7)	情報活用(共通・必)		農業気象環境学 応用数学 応用力学 環境水理学	地盤環境工学 治山・砂防学 地盤環境工学	農地保全学 環境計測学 地域計画学 農業水利環境学 地域環境エネルギー論	専門英語 農業機械学 樹病学	卒業論文		

農学部　農林環境科学科　スマート農学コース

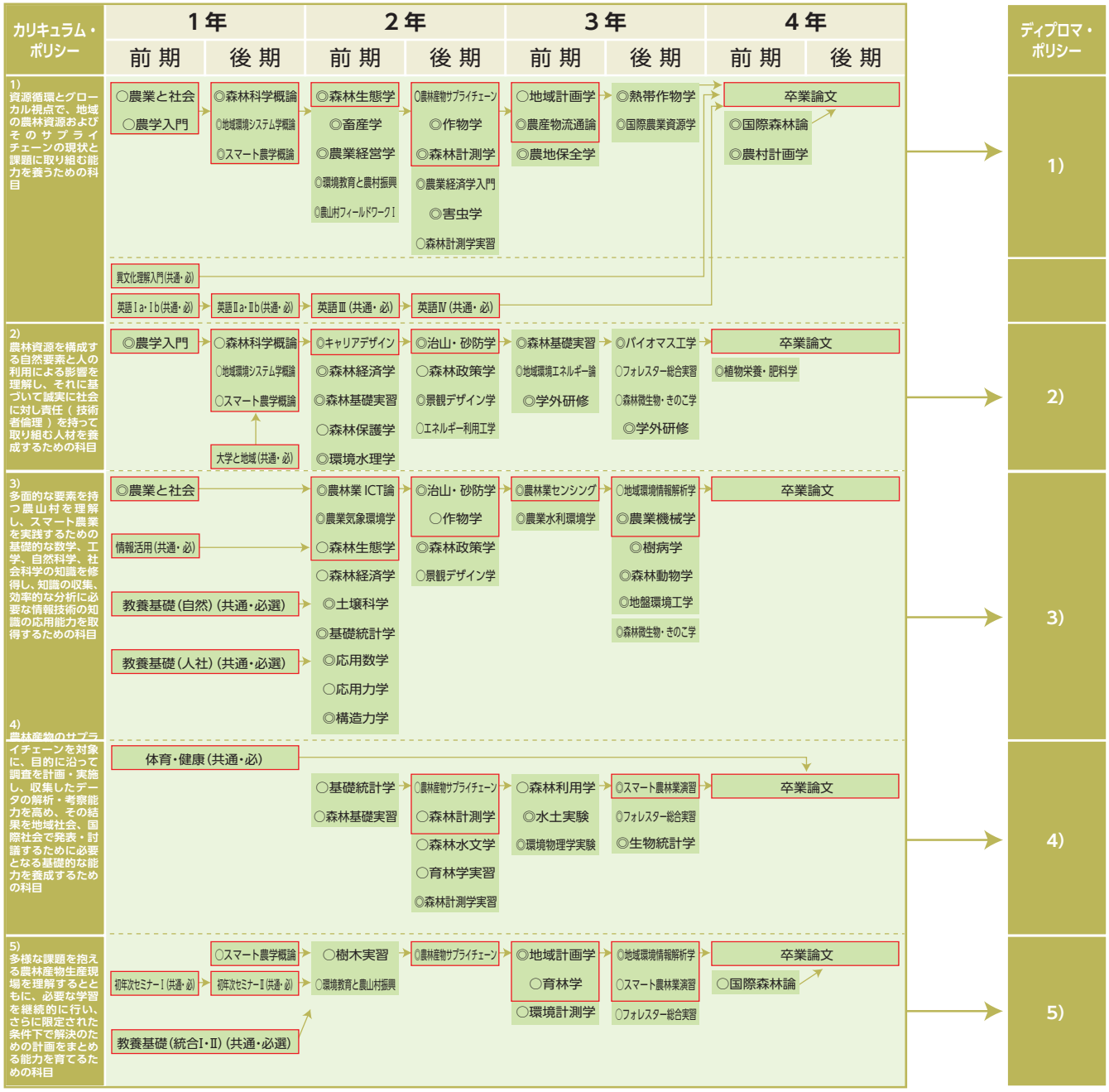
コースカリキュラム・ポリシー

	対応する学部CP
1）資源循環とグローカル視点で、地域の農林資源およびそのサプライチェーンの現状と課題に取り組む能力を養うための科目を配置します。	①②③
2）農林資源を構成する自然要素と人の利用による影響を理解し、それに基づいて誠実に社会に対し責任（技術者倫理）を持って取り組む人材を養成するための科目を配置します。	①②③
3）多面的な要素を持つ農山村を理解し、スマート農業を実践するための基礎的な数学、工学、自然科学、社会科学の知識を修得し、知識の収集、効率的な分析に必要な情報技術の知識の応用能力を取得するための科目を配置します。	①②③
4）農林産物のサプライチェーンを対象に、目的に沿って調査を計画・実施し、収集したデータの解析・考察能力を高め、その結果を地域社会、国際社会で発表・討議するために必要となる基礎的な能力を養成するための科目を配置します。	②③
5）多様な課題を抱える農林産物生産現場を理解するとともに、必要な学習を継続的に行い、さらに限定された条件下で解決のための計画をまとめる能力を育てるための科目を配置します。	②③

コースディプロマ・ポリシー

	対応する学部DP
1）資源循環とグローカル視点で、地域の農林資源およびそのサプライチェーンの現状と課題に取り組むことができる能力	①②③
2）農林資源を構成する自然要素と人の利用による影響を理解し、それに基づいて誠実に社会に対し責任（技術者倫理）を持って取り組むことができる能力	②③
3）多面的な要素を持つ農山村を理解し、スマート農業を実践するための基礎的な数学、工学、自然科学、社会科学の知識を有し、知識の収集、効率的な分析に必要な情報技術の知識を応用することができる能力	①③
4）農林産物のサプライチェーンを対象に、目的に沿って調査を計画・実施し、収集したデータの解析・考察を行い、その結果を地域社会、国際社会で発表・討議するために必要となる基礎的な能力	①③
5）多様な課題を抱える農林産物生産現場を理解しており、必要な学習を継続的に行なうことができ、さらに限定された条件下で解決のための計画をまとめることができる能力	②③

カリキュラム・マップ



◎当該科目の主要な目標　○当該科目の副次的な目標　ただし、卒業論文は包括的なプログラムであるため、主要、副次的の区別をしていない。